



海老沼小だより

～ かしこく やさしく たくましく生き抜く子
笑顔と歌声あふれる学校 ～

8・9月号

平成30年8月28日

さいたま市立海老沼小学校

2学期80日間、一層充実の日々に

校長 森 裕子

38日間の夏休みが終わり、2学期が始まりました。今年はそれぞれ、どんな夏休みだったでしょうか。子ども達の話や絵日記などから、楽しかった思い出があふれ、久しぶりに会えたうれしさもあって、例年、この数日は笑顔や笑い声が飛び交い、キラキラするような時間が流れていきます。家庭、地域の力強いご支援のお陰で、休み中の子ども達の事故等の連絡は一件もなく、何よりうれしく思っています。

今年、「災害レベル」となった暑さで、夏休み初めのプール指導を中止とした小学校もありました。私も、プール入水中もさることながら炎天下の登下校時についても不安がありました。しかし、予定していたことを急に変更するのは支障をきたすことも多々あるだろうし、そもそもが「任意の参加」となっているので、注意喚起の安心メールだけ出してご家庭の判断に委ねることにしました。幸い、23日の月曜日から27日の金曜日まで5日間すべて実施し、特に大きな事故等もなく終了することができました。ご家庭の協力に改めて感謝申し上げます。来年度以降の実施については、改めて検討する所存です。子ども達が目標をもって楽しみに通ってくる夏休みのプールをなくすことは忍びないですが、安全を第一に考えると・・・不安要素があまりに大きい猛暑です。夏休み中に、ウサギの餌や花壇の花に水をあげに来てくれた飼育委員、環境委員の当番の子ども達がいました。汗びっしょりになって職員室に鍵を取りに来る皆さんを責任感が強くて本当に偉いと思いました。また、PTAの当番の方々もお世話になりました。飼育ボランティアの田中さんにも相変わらずお世話になりました。皆様、猛暑の中本当にありがとうございました。

教職員もまとまった時間が取れるこの時期に計画的に「作業」と「研修」を行いました。まず作業としては、手分けして学校の備品を整理・整頓したり、不要なものを処分したり、施設・設備の補修をしたりしました。けやきひろばで子ども達に愛用されている通称「にんにくベンチ」も、校務員の大胡さんがきれいに塗り替えてくれました！（写真参照）次に研修では、よりわかりやすい授業となりための知識や技法の習得、GS（グローバルスタディ）の実践方法、ICT（情報機器）の活用の仕方、カウンセリングや人権に関すること、竜巻に備えた訓練の仕方などなど、多岐にわたって先生達も勉強していきました。そして、先生方も夏休みは普段と違ってゆっくり休んだり、好きなことに没頭したり、旅行に出かけたりしてリフレッシュしています。そうして長い夏休みも



そろそろ終わりに近づくと2学期の準備のための会議をもちながら、教室をきれいにし、「さあ、2学期が始まる！子ども達といっしょにまたがんばろう！」という気持ちを高めていきます。私も30年を超える教員生活で、毎年同じように過ごしてきました。夏休みが明けて一番うれしいことは子ども達の笑顔に再び会えること、そして一番悲しいことは、その笑顔に二度と会えなくなることです。不慮の事故に遭うことも考えられますが、あってはならないことは、自ら命を絶つこと…毎年、夏休み明けの始業式に事例が特出して多いことがテレビのニュースでも取り上げられています。「そんなに学校がいやだったのか。再び始まることは本人にとって回避できない試練だったのか。」考えさせられます。始業式でも子ども達に話しますが、もし、学校に来ることに相当の困難を抱えている場合は、必ず近くの大人に相談をすること、解決できない問題はないこと、絶対に大切な命を自ら絶つという行為にはしらないこと、ご家庭でもお話しただければ幸いです。そして、気になることがありましたら、遠慮なく学校へご連絡ください。

夏休み中に保護者の方にはばったり出会ったことがあり、「うちの子は、早く夏休み終わらないかな、早く学校行きたい、って毎日言っています。」とお聞きし、思わず笑ってしまいました。とてもとてもうれしいことです。2学期、学校生活が再び円滑にスタートし、運動会をはじめ、運動会をはじめとした行事もたくさんある一番長い2学期80日間を子ども達とともに、より充実した日々となるように、職員一同改めて力を尽くしていく所存であります。

引き続き、ご家庭、地域の方々のご協力をよろしくお願いいたします。